

# オオハムシドロバチ

*Symmorphus captivus* (Smith)  
ハチ目・ドロバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

## 選定理由

1989年以降県内では記録がなく、生息状況に関する情報は不足している。県内の生息状況、生態の解明を含め、今後本県でも注視していく必要がある。

## 分 布

本州、四国に分布。県内では大野市小谷堂で1989年の採集記録があるのみ。

## 種の特徴

体長15～16mm。全体が黒色で腹部の第1節と第2節の後縁に黄色の横帯斑紋をもつ。成虫は既存孔に営巣し、ハムシ類の幼虫を狩ると考えられているが、生態の詳細は不明。

## 生息を脅かす要因

山村の過疎化による木造家屋や立ち枯れ木の減少により、本種の造巣基が失われる。河川改修や道路工事等の影響も心配される。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県自然環境保全調査研究会（1999）、環境省（2015）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# チャイロスズメバチ

*Vespa dybowskii* André  
ハチ目・スズメバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

今回の調査で新たな生息地が何か所もみつき、生息確認地点数は大幅に増加したため、ランクダウン。ただし、本種が労働寄生するモンズズメバチは全国的には減少しているとされることから、注視の継続が必要。

## 分 布

北海道、本州に分布。県内では大野市、池田町、若狭町で記録があった。今回、勝山市、あわら市、福井市、永平寺町、越前町、敦賀市、高浜町でも確認された。

## 種の特徴

体長女王27～29mm、働きバチ17～21mm、雄19～24mm。体色は頭部から胸部にかけて赤褐色で、腹部は黒色。女王はキロスズメバチやモンズズメバチの巣に侵入し、女王を殺して巣を乗っ取り、その働きバチに自身の幼虫を育てさせる。

## 生息を脅かす要因

本種が社会寄生するモンズズメバチの減少要因は不明とされる。生態系のバランスの崩れにつながる急激な自然環境の改善が本種の生存にも影響を及ぼしうる。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、羽田（2005b）、羽田ら（2005）、羽田ら（2002）、羽田ら（2001）、環境省（2015）、黒川（2002）、室田（1998）、室田ら（2008a）、高橋（2001）、高見澤（2005）、田塾・室田（1998）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○			○	○		○	○			○		○	○	○

# ガロアギングチ

*Crossocerus heydeni* Kohl  
ハチ目・ギングチバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

## 選定理由

大野市、南越前町、旧名田庄村の約10の地点で生息記録がある。今回新たに生息が確認された場所もあるが、確認地点数としては減少した。埼玉県、京都府で減少が報告されているが、本県では生息域が減少しているとの判断は難しく、要注目とした。

## 分 布

本州に分布。県内では大野市平家平、小池、鳩ヶ湯、嵐、南越前町武周ヶ池、おおい町虫谷等で記録されている。今回、越前町城山、越知山、永平寺町福平峠で確認された。

## 種の特徴

10mm内外の小形のギングチバチ。枯れ木に営巣し、キノコバエ類を狩る。前回のレッドデータブックでムロタギングチとして記載されていたのは本種のシノニム。

## 生息を脅かす要因

森林環境の改変等が脅威となりうる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、福井県自然環境保全調査研究会（1998）、羽田ら（2002）、環境省（2015）、京都府自然環境保全課（2015）、室田（2001）、室田（2002）、室田ら（2008b）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○					○	○		○						○	○